

『 ~ 私の父は日本人 ~ 命をありがとう 』

オランダの異母兄弟を迎えた新家族

戦時中、インドネシアで日本軍人(軍属)と現地女性の間誕生し、戦後、オランダへ移住した日系2世。父親の顔も名前も知らず今65歳前後になった2世たちが、父親への思慕をつのらせ社会へ訴えます。

戦後初、日蘭市民の共同アピール！ **検証シンポジウム**

オランダには日系2世の結成した団体「JIN」と「財団法人櫻」があります。

両団体から 父親捜し の依頼状が届くようになって約20年。

依頼状には、誤認や空白が多く、政府はその要請に応えられませんでした。

ところが、その困難な親族調査を、在大阪の内山馨氏(現86歳)が15年間、

ボランティアで活動、多大な成果を残して来られました。

昨今、オランダの異母兄弟を受容し、日蘭で交流を深めている

小川幸子さんのような新しい家族が生まれています。

*** オランダ日系2世の<父親捜し>をテーマに、「戦争と子ども」「子にとっての父」に迫ります***

* 戦争の被害者・歴史の証言者。オランダ日系2世の語る実情に耳を傾けて下さい。

* 高齢者のボランティアは社会の一灯。内山氏の 父親捜し から見えてくるものとは？

* 亡き父の戦時中の真実。小川幸さんは、異母兄弟と、どんな関係を保っているのか？

日時： 6月19日(土) 13:15~17:00(開場12:50)

13:15~挨拶 / 13:30~15:30 シンポジウム 4名のオランダ日系2世

15:40~16:30 講演(インタビュー形式)内山馨さん / 小川幸子さん

16:30~16:55 質疑応答 (17:15~17:45 記者会見)

コーディネータ 武井 優 (実行委員会代表・ノンフィクションライター)

会場： 日本青年館中ホール

JR中央・総武線「信濃町駅」・「千駄ヶ谷駅」より9分。地下鉄銀座線「外苑前駅」G3出口より7分。

都営地下鉄大江戸線「国立競技場駅」A2出口より7分。お車は近隣の有料駐車場をご利用下さい。

入場料： 無料(300席・逐次通訳あり・申し込み順)

主催： ファミケーション実行委員会 問い合わせ：090-7426-6874(武井)

申し込み先：FAX 03-3775-8590 メール：famcation2010@gmail.com